

## バウツダコーシャ

### —多言語辞書と TEI の辞書モジュール—

高橋晃一

バウツダコーシャ・プロジェクトの成果のうち、『アビダルマ・コーシャ』の五位七十五法、「瑜伽行派文献の五位百法」、「パーリ文献の五位七十五法対応語」がウェブサイトで参照できるようになっている。これらの成果をウェブ上で公開するにあたり、バウツダコーシャ・プロジェクトでは、コンピュータで情報処理をするために、XML を用いて資料を電子化している。その際に、TEI (Text Encoding Initiative) が策定したガイドラインに準拠している。TEI のガイドラインは辞書に関して、国語辞典や英英辞典のように、語彙を同一の言語で説明するタイプ（単一言語型）と、英和辞典などのように、単語の意味を外国語で置き換えるタイプ（多言語型）の二種が想定されている。バウツダコーシャ・プロジェクトではサンスクリット語やパーリ語の術語を説明するサンスクリット語またはパーリ語の原典を提示している。したがって、基本的な構造は単一言語型になっている。しかし、それに加えて、説明文に対応する漢訳・チベット語訳を併記し、さらに現代語訳を付し、またサンスクリット語などの注釈文献の情報も加えている。そのため、多言語辞書型の構造も併せもっており、TEI ガイドラインの想定を超えている。このような問題について、バウツダコーシャ・プロジェクトで考案した手法について解説する。